



立憲民主党

専門性+政策実現力で

三鷹を変革する！三鷹市議会議員

みたかシティレポート
2023年 3月1日発行

立憲民主党 立憲民主編集部 号外
〒101-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1
電話 03-3595-9988 (代表)



三鷹生まれ・三鷹育ち

民間企業出身の発想と実行力

おばた 和仁

おばた和仁は、こんな議員です♪

- 損害保険会社社員 30年～サラリーマンの味方！民間企業の発想で、行政の問題点を指摘します。
 - 市民の声を大切に～なにごとにも誠実に対応！お気軽にご要望など、ご相談ください。
 - 夜間の社会人向け大学院に在学～専門性に裏打ちされた政策を提案します。また、エビデンスに基づき、市政の課題を指摘します。
 - 三鷹生まれ、三鷹育ちですが～会社の転勤により日本全国で生活し、まちづくりも保険を通じて関わりました。大きな視野、さまざまな視点で提案します。
- ※おばた和仁後援会（会長駒林氏）会員募集しています！

■ 毎週月曜日～金曜日 毎朝 7時から各駅で早朝街宣活動をしています。

■ おばた和仁事務所
〒181-0012 三鷹市上連雀 6-4-1
TEL 080-3046-0741(おばた)
Eメール info@obatakazuhito.tokyo
HP <https://obatakazuhito.tokyo>

◆プロフィール

- 現在: 三鷹市議会議員1期目、東京大学大学院在学(都市工学専攻)、三鷹駅前再開発・市庁舎調査検討特別委員会(副委員長)などの委員会、三鷹国際交流協会評議員、武蔵野法人会会員など、
- これまで: 三鷹幼稚園、南浦小、三鷹一中、都立国立高校、横浜国大経済卒、東京海上日動勤務 30年、元 JQ 上場企業執行役員、元小学校 PTA 副会長、三鷹まち活塾修了
- 趣味: 水泳、カホン演奏、社交ダンス

「住みたくなるまち・三鷹」という未来ビジョンを提案します！

①公園と水と農業のまち・三鷹

玉川上水、野川、仙川を活用した水辺公園づくり、シェア農地や農地の公園化

②自然の中で美味しく食べるまち・三鷹

水辺公園などにパーク PFI 手法等でレストラン誘致、食(三鷹産野菜と果物)と読書をテーマとしたまちづくり

③お出かけしたくなるまち・三鷹

自然に溢れたウォーカブルなまちづくり、自動車、自転車も要らないまち、コミュニティバスのルート見直しと 100 円均一運賃で公共交通網を充実、将来は、道路の上を走る次世代路面電車(LRT)を誘致し、三鷹・調布間を 20 分程度でつなぎます

4年間の主な実績（まだまだ、前進させなければなりません）

- ① コミバスの見直しを提案 ⇨ スローモビリティ、デマンドバス等の実証実験が開始！
- ② コロナ感染自宅療養者の支援を提案 ⇨ 市は自宅療養者相談支援センターを開設！
- ③ 地域こどもクラブの充実を提案 ⇨ 運営日が夏休みも含め大幅増加！
- ④ 共済金査定誤りを指摘 ⇨ 市受取金が6,800万円から1億3,600万円に倍増！
- ⑤ 用途地域の見直しにより、買物困難地区にスーパー誘致を提案 ⇨ 計画案に記載！
- ⑥ 無駄な事業見直しを提案 ⇨ 駐輪場の見直しや自転車保険事業を廃止！
- ⑦ ふるさと納税に返礼品制度採用を提案 ⇨ 市の返礼品制度がようやく開始！

三鷹市のまちづくり事業(案)等についての意見

① 三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業について

- 市の方針案 百年の森構想の起点としている。公共公益施設として、イベントホールを提案している。
- おばた意見 早期に市は、市の財政負担見込みを示すべきです。森というよりは、ウオーカブル、公園、食と読書をテーマとしたまちづくりの起点として、イベントホールは慎重に検討すべきです。

② 井口特設グラウンドの土地利用について

- 市の方針案 防災・減災のまちづくりの視点から、野球場が2面とれる現在の敷地の半分を定期借地して、感染症にも対応できる100床程度の病院を市内から誘致したいとしている。
- おばた意見 市内病院の経営の安定は重要であり、また、市の収益向上の視点も重要です。しかし、防災減災のまちづくりの視点から、大災害時の避難場所として有益な新武蔵境道路に接するグラウンドを半分にするデメリットも考察しなければなりません。市の主張は一面的であり、多面的な考察が必要です。

③ 大沢天文台周辺地域まちづくり事業について

- 市の方針案 防災・減災のまちづくりの為、現在、浸水予想区域内にある羽沢小学校は、国立天文台北側ゾーンに移転するべきとした。
- おばた意見 たしかに浸水対策ではその通りですが、地震災害のことも考えるべきだと思います。地震災害時の避難場所・避難所、更には学校3部制を核とするスクールコミュニティ運営の視点から、羽沢小学校は近隣住民の居住地から近い現在の地に残す方が、利便性が高いと思います。また、移転すると、一部の子どもたちはスクールバス通学となり大変となります。もう少し多面的な検討、議論が必要です。

④ 小・中学校の給食費無償化について

- 市の方針案 小・中学校の給食費無償化の経費は約8億円と想定され、毎年の継続的な支出は厳しい。学校給食法上も、食材費の負担は保護者負担となっている。
- おばた意見 基本的には、給食費無償化は国の財源で実施すべきだと思います。しかし、文科省も保護者の要請により、保護者の負担軽減を図ることは可能との見解を示しており、令和5年度中に、都内23区の半数近くの区で、無償化となる見込みです。子どもたちの食の安全を確保することはとても重要ですが、住んでいる自治体によって差がでるのは問題です。国が無償化を決定するまでは、事業見直し等により市が無償化するという熱意がリーダーには求められていると思います。

⑤ 町会・自治会への支援について

- 市の方針案 住民自治の視点から、カネは出すが、クチはださないという姿勢を堅持しつつ、町会・自治会への支援策である「がんばる地域応援プロジェクト」などにより、元気な町会づくりを目指している。
- おばた意見 今は、状況が激変しています。市の支援はもっと拡大すべきです。若い人があまり居ない自治会もあり、高齢者が役員となってご苦労されている町会・自治会は沢山あります。市職員は、もっとまちなかに出て、市内の若い方々が担う団体と町会・自治会とのコーディネーター役に取り組むべきです。

